

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護保険実務論 Care Insurance Business		1年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (介護保険実務士ユニット必修(社会福祉・介護福祉フィールド除く))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
介護保険請求実務				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護保険請求実務				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大熊 信成	福祉棟3F	火～金9:00～17:00(授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要について理解し、制度の発展過程についても言及する。介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解するとともに終末期ケアの在り方や相談援助活動において必要となる介護保険制度や福祉・介護に係る他の法制度についても理解を深める。				
授業の到達目標				
高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎的な知識を高め、最終的には介護保険事務士取得試験に無事合格できるようにする。				
授業の方法				
講義形式の授業であるが必要に応じてグループ討議なども行いたい。資格取得講座であるため必ず出席のこと。				
学習の成果				
①高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎的な知識を高めることができる。 ②介護保険事務士取得試験(学科試験)に合格することができる ③高齢者の生活の実際とその生活環境を具体的に理解することができる。 ④高齢者の生活支援の必要性を具体的に理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、評価) 高齢者福祉の概要について			
第2回目	認知症ケアの実際			
第3回目	高齢者虐待と虐待予防の取り組み			
第4回目	老人福祉法と関連法規			
第5回目	高齢者に対する医療制度			
第6回目	死と終末期ケア レポート「尊厳について」			

第7回目	介護の概念と介護予防	
第8回目	介護保険制度のしくみ	
第9回目	介護保険制度の運営 レポート「介護保険制度の特徴と問題点」	
第10回目	地域包括支援センターと地域	
第11回目	高齢者福祉制度の発展過程	
第12回目	高齢者をとりまく地域と環境	
第13回目	高齢者の心身の特性と支援・少子高齢社会の現状と動向・課題	
第14回目	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズ	
第15回目	総括 まとめ 定期試験	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	10%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、授業に臨むことができる。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。序論、本論、結論と3部構成になっている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	70%	高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎的な知識、高齢者の生活環境、高齢者の生活支援の必要性についての試験(論述式・選択式)を行い、理解度に応じて評価する。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
『介護保険事務士養成テキスト』学科編 財団法人老齢健康科学研究財団編集、その他資料を適宜配布する。		
履修上の心得・ルール		
「介護保険事務士」資格試験受験のための必須科目である。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		